

令和8年9月10日

令和9年度大学院グローバル共創科学研究科（修士課程）募集要項の修正について

大学院グローバル共創科学研究科教員の退職に伴い、学生募集要項を以下のとおり修正いたします。出願の際は小野晶子助教を研究指導教員として志望することはできませんのでご注意ください。

P17 グローバル共創科学研究科 研究内容概要

【修正前】

自然環境創造領域	S 1	教授	崔宰熏	農芸化学、応用生物学	choi.jaehoon◆	S 1
	S 2	教授	平井浩文	環境生物化学・環境バイオテクノロジー	hirai.hirofumi◆	S 2
	S 3	准教授	青木憲治	材料工学、ナノマイクロ科学、有機化学、高分子	aoki.kenji◆	S 3
	S 4	准教授	稲井誠	有機化学	inai.makoto.a◆	S 4
	S 5	准教授	斉藤俊貴	天文学	saito.toshiki◆	S 5
	S 6	助教	小野晶子	森林園科学・水圏応用科学、農芸化学	ono.akiko◆	S 6
	S 7	助教	金キョンミン	水環境工学・エネルギー化学	kim.kyeongmin◆	S 7
	S 8	助教	村上博紀	細胞レベルから個体レベルの生物学、農芸化学	murakami.hiroki◆	S 8

【修正後】

自然環境創造領域	S 1	教授	崔宰熏	農芸化学、応用生物学	choi.jaehoon◆	S 1
	S 2	教授	平井浩文	環境生物化学・環境バイオテクノロジー	hirai.hirofumi◆	S 2
	S 3	准教授	青木憲治	材料工学、ナノマイクロ科学、有機化学、高分子	aoki.kenji◆	S 3
	S 4	准教授	稲井誠	有機化学	inai.makoto.a◆	S 4
	S 5	准教授	斉藤俊貴	天文学	saito.toshiki◆	S 5
	S 7	助教	金キョンミン	水環境工学・エネルギー化学	kim.kyeongmin◆	S 7
	S 8	助教	村上博紀	細胞レベルから個体レベルの生物学、農芸化学	murakami.hiroki◆	S 8

P19 グローバル共創科学研究科 研究内容紹介

【修正前】

【自然環境創造領域】

氏 名	職名	研 究 内 容
崔 宰 熏	教 授	天然物化学的手法による生命現象における有機化合物の機能解明に関する研究
平 井 浩 文	教 授	白色腐朽菌を用いた木質バイオリファイナリー及びバイオレメディエーションに関する研究
青 木 憲 治	准教授	マテリアルリサイクル可能なセルロース/樹脂複合材料に関する研究
稲 井 誠	准教授	物質創製を基盤とする天然物合成研究
斉 藤 俊 貴	准教授	天文学、機械学習・データ科学の天文学への応用
小 野 晶 子	助 教	グリーン社会実現に向けた糸状菌の分子生物学的研究
金 キョンミン	助 教	水域における環境および自然エネルギーに関する研究
村 上 博 紀	助 教	微細藻類を活用した有用物質生産の社会実装に関する研究

【修正後】

【自然環境創造領域】

氏 名	職名	研 究 内 容
崔 宰 熏	教 授	天然物化学的手法による生命現象における有機化合物の機能解明に関する研究
平 井 浩 文	教 授	白色腐朽菌を用いた木質バイオリファイナリー及びバイオレメディエーションに関する研究
青 木 憲 治	准教授	マテリアルリサイクル可能なセルロース/樹脂複合材料に関する研究
稲 井 誠	准教授	物質創製を基盤とする天然物合成研究
斉 藤 俊 貴	准教授	天文学、機械学習・データ科学の天文学への応用
金 キョンミン	助 教	水域における環境および自然エネルギーに関する研究
村 上 博 紀	助 教	微細藻類を活用した有用物質生産の社会実装に関する研究

【本件に関する問い合わせ先】

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

静岡大学グローバル共創科学部学務係

TEL：054-238-3715, 4256

FAX：054-237-3716

2027（令和9）年度

静岡大学大学院
グローバル共創科学研究科
（修士課程）

学 生 募 集 要 項

一 般 入 試

自己推薦型入試



静 岡 大 学

目 次

□ 静岡大学の理念と目標	2
□ グローバル共創科学研究科のアドミSSION・ポリシー	2
□ 入試日程	4
□ 募集人員	4
□ 一般入試	5
□ 自己推薦型入試	11
□ 入学試験情報の提供	15
□ 個人情報の取り扱い	15
□ 長期履修学生制度について	15
□ 障害のある入学志願者への受験上の配慮について	16
□ 安全保障輸出管理について	16
□ 研究内容概要（教育研究項目）	17
□ 研究内容紹介（主要研究内容）	18
□ 静岡キャンパス案内図・建物配置図	20
□ 入学願書等出願書類	

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/> を参照ください。

グローバル共創科学研究科のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

我々が現在・未来の世界で直面する課題の解決に、高度な人文・社会科学及び自然科学の専門的知識とスキルをもって取り組み、グローバル社会と地域社会のつながりを踏まえて新しい価値を持った解決策を提示し、課題の解決に企業・行政・市民・他分野の研究者と協働して取り組む共創型研究を主導できる知識とスキルを持った高度な共創型人材を育成します。また、未来社会の課題を的確に捉え、持続可能なウェルビーイングに貢献できる新しい価値をもった総合知を創造できる人材を育成します。

【目指す教育】

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して、複眼的観点から社会的課題を的確に捉え総合知を活用し、現在・未来社会の課題解決に取り組む人材を育成します。そのために、課題解決に必要な広汎かつ高度な専門知識及び異分野の人材と深く連携して多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また、新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため、基本的な知識・技能として、実践的な外国語（特に英語）と応用レベルの数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

【求める学生像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、人文・社会科学、自然科学の高度な専門知識に基づく共創で様々な社会的課題の解決に取り組み、より良い未来社会の実現に貢献することに意欲のある学生を期待します。また、学修内容の指向性としては、文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること、外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

【入学に必要とされる資質・能力】

高度な人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため、文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識と志望する領域（共生社会創造領域又は自然環境創造領域）における専門知識を有し、共創型研究に対する強い意欲を持って入学後に勉学及び研究活動を遂行しうる能力を有していることが必要です。このため、研究活動に必要な基礎学力を判断する専門科目の口頭試問、研究意欲や共創・協働する力を判断する面接試験及び外部英語試験による英語力の評価を行います。

【入学者選抜の基本方針】

現代社会とポストSDGsの未来社会で「持続可能な一人ひとりの多様な幸せ（well-being）の達成」に貢献できる新しい価値を持つ高度な総合知を共創型研究で創造でき、課題解決の場においてリーダーシップを発揮し主導できる高度な共創型人材の育成を目指し、入学後の勉学と研究活動を遂行しうる能力及び学力について、以下の各試験で判断します。

《一般入試》

（１）選抜方法

①学力試験：口頭試問、外部英語試験による英語力

②面接試験

※口頭試問、面接試験の参考資料として研究計画書の提出を求めます。

（２）判定方法

①学力試験、面接試験の得点を総合して、高得点の者から順に選抜します。

②以下のいずれかに該当する場合は不合格とします。

i. 学力試験の得点が50%に満たない場合

ii. 面接試験の得点が50%に満たない場合

③出願書類は、口頭試問、面接試験の評価の基礎資料として活用します。

《自己推薦型入試》

（一次選抜）

入学願書、成績証明書及び自己推薦書について総合的に判断し、『二次選抜受験有資格者』を決定します。

（二次選抜）

『二次選抜受験有資格者』に対し、面接試験を行います。面接では、志望動機、将来の目標、意欲などの学習・研究に対する態度、基礎的な学力、論理的思考力、表現力などを総合的に判断します。

入試日程

選抜方式	自己推薦型	一 般
出願資格審査 (該当者のみ)		2026 年 10 月 23 日 (金) 申請締切 2026 年 11 月 6 日 (金) 結果通知
出願期間	2026 年 9 月 14 日 (月) ～ 9 月 18 日 (金)	2026 年 11 月 20 日 (金) ～ 11 月 27 日 (金)
学力検査等	一次選抜 (書類選考) 2026 年 10 月 9 日 (金) までに 決定し、通知する	(学力試験、面接試験) 2026 年 12 月 19 日 (土)
	二次選抜 (面接試験) 2026 年 11 月 5 日 (木)	
合格発表	2026 年 11 月 13 日 (金)	2027 年 1 月 18 日 (月)
確認書	2026 年 11 月 30 日 (月)	
入学時期	2027 (令和 9) 年 4 月	

募集人員

選抜方式	募集人員
一 般	6 名
自己推薦型	6 名
合 計	12 名

一 般 入 試

【2027 年4月入学】

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2027 年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び 2027 年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び 2027 年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び 2027 年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年3月までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 102 条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育をうけるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年3月 31 日までに 22 歳に達する者

《注》(9)・(10)の資格で出願を希望する場合は事前審査を行うので、「4 事前審査」の内容にしたがって出願してください。

2 募集人員及び試験科目

募集人員	試 験 科 目
6 名	・ 学力試験（英語） *TOEIC テスト等の外部英語試験のスコアによる評価を行います。 ・ 学力試験（口頭試問） ・ 面接試験

3 研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『グローバル共創科学研究科研究内容概要（17 頁）』及び『グローバル共創科学研究科研究内容紹介（18～19 頁）』を参照し、自分の希望に沿った志望専門分野及び志望する研究内容を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。（教員の連絡先は、『グローバル共創科学研究科研究内容概要（17 頁）』を参照してください。）

4 事前審査

「1 出願資格」(9)・(10)の資格で出願を希望する場合は、次の書類を2026年10月23日（金）までに「6 出願書類提出先」へ提出してください。なお、郵送の場合は2026年10月23日（金）の16時必着とします。

事前審査申請書	本研究科所定の用紙に必要事項を記入。所定の用紙は、グローバル共創科学部ウェブサイト (https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/) からダウンロードしてください。
推薦書	本研究科所定の用紙に申請者が在籍する大学の指導教員を含む複数の教員が所見を記入のうえ、当該学部長が推薦し、厳封したもの。所定の用紙は、グローバル共創科学部ウェブサイト (https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/) からダウンロードしてください。
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
返信用封筒	長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、410円切手を貼付したもの。（事前審査結果通知用。海外への送付を希望する場合は、郵送料をグローバル共創科学部学務係に確認してください。）

※大学を卒業していないため、推薦書及び成績証明書を提出できない者は、グローバル共創科学部学務係までお問い合わせください。

※事前審査結果は、2026年11月6日（金）までに申請者あてに郵送します。事前審査合格者は、「5 出願書類受付期間」、「7 出願書類等」により出願手続きを行ってください。

5 出願書類受付期間

2026年11月20日（金）～2026年11月27日（金）※土日祝を除く

（窓口受付時間は、9時から12時30分及び13時30分から16時の間です。）

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書（一般入試）在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は2026年11月27日（金）の16時必着とします。

6 出願書類提出先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836
静岡大学グローバル共創科学部学務係
TEL (054) 238-3715, 4256

7 出願書類等

入 学 願 書	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
研 究 計 画 書	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。所定の用紙は、グローバル共創科学部ウェブサイト (https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/) からダウンロードしてください。
入 学 検 定 料 30,000 円	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込んでください。 ※払込後の返還、大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置については、「15 注意事項」をお読みください。
振替払込受付証明書 (入学検定料受付証明書)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
成 績 証 明 書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 本学のグローバル共創科学部を卒業または卒業見込みの者は提出不要です。
在留カードの写し (両面の写しを提出)	日本国籍を有しない者のみ。
受 験 許 可 書	学長又は研究科長が発行したもの。(他の大学院に在学中の者のみ。ただし、2027 年 3 月修了見込みの者を除く。)
返 信 用 封 筒	任意の長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、410 円切手を貼付したもの。(受験票送付用。海外への送付を希望する場合は郵送料をグローバル共創科学部学務係に確認してください。)
あ て 名 票	本研究科所定の用紙に、郵便番号・住所・氏名を明記してください。 (合格通知書・入学手続案内送付用) 所定の用紙はグローバル共創科学部ウェブサイト (https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/) からダウンロードしてください。
外部英語試験の成績証明書類の写し	以下の 3 つの外部英語試験のいずれかひとつの成績証明書類を、A 4 サイズの用紙にコピーして提出してください。(TOEIC でテスト結果のみが表示された Web 画面を印刷したものは不可) なお、TOEIC L&R については、2023 年 4 月 1 日以降に受験したもの(所属団体・大学の IP テストを含む)を、それ以外の外部試験については 2023 年 8 月 1 日以降に受験したものを有効とします。 ・ TOEIC L&R (IP テストも可) ・ TOEFL iBT ・ IELTS (Academic Module) ※外部英語試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書 (Certificate) など、受験者の氏名、日付、得点が記載されたものを指しています。 ※成績証明書類については、試験時に原本を確認しますので、受験時に必ず持参してください。(TOEFL iBT の場合は、「Test Taker Score Report : 受験者用控えスコアレポート」の郵送版を持参してください。郵送版を取得できない場合は、出願書類受付期間終了までに、グローバル共創科学部学務係までご相談ください。) ※TOEIC L&R を受験してデジタル公式認定証の発行を受けた場合は、原本証明用 QR コード*が表示された PDF 版スコアシートを印刷して出願時に提出すれば、試験時の原本持参は省略できます。

※その他、出身大学の指導教員が作成した推薦書を添付しても構いません。

*「QR コード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です

出願に際して記入した事項及び提出した書類については、すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載、改ざん又は不正が判明した場合は、出願の受理後または入学試験実施後であっても、合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

8 選抜方法

(1) 学力試験（英語）

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる外部英語試験のスコアを判定に用います。

(2) 学力試験（口頭試問）

本研究科において、学習・研究するために必要な幅広い基礎的知識と志望する領域（共生社会創造領域又は自然環境創造領域）における専門知識・学力を口頭試問により判断します。

(3) 面接試験

学力試験（口頭試問）では判断できない、本研究科における学びへの意欲や研究に対する適性などを総合的に判断します。

9 判定方法

(1) 学力試験、面接試験の得点を総合して、高得点の者から順に選抜します。

(2) 以下のいずれかに該当する場合は不合格とします。

① 学力試験の得点が50%に満たない場合

② 面接の得点が50%に満たない場合

(3) 出願書類は、口頭試問、面接試験の評価の基礎資料として活用します。

10 試験日時、試験科目、配点及び試験場

2026（令和8）年12月19日（土）		
-	試験場：静岡大学（静岡市駿河区大谷836）	
学力試験（英語）	学力試験（口頭試問）	面接試験
英語（100点）	専門（100点）	面接（100点）
	10:00～	
外部英語試験の結果は、CEFRの定める換算表を参考に100点満点の得点に換算して審査します。	口頭試問と面接試験は併せて実施し、それぞれ個別に評価します。 ※試験時に外部英語試験の成績証明書類の原本を確認するので、必ず持参してください。（TOEIC L&Rのデジタル公式認定証を提出した場合は不要）。	

※ 集合時刻及び集合場所等の詳細は、受験票と共に送付する案内文書で通知します。

11 合格発表

2027年1月18日（月）の正午（予定）に、グローバル共創科学部ウェブサイト（<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/>）に掲載するとともに、合格者には郵送で通知します。

12 入学手続き

2027年3月中旬までに行う予定です。入学手続きの詳細な案内（入学料・授業料の免除申請を含む。）については、2027年3月上旬までに本人あてに郵送します。

13 入学料及び授業料

◆ 入学料 282,000円《2026年度実績額》

◆ 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《2026年度実績額》

（注）① 前期分の授業料については、2027年4月1日（木）から同年4月30日（金）までに納入してください。

- ② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- ④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

14 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合、第二次募集によって欠員補充を行うことがありますが、追加合格による欠員補充は実施しません。

15 注意事項

- (1) 学力試験（口頭試問）・面接試験の際には、必ず受験票を携帯してください。
- (2) 出願後、提出書類の内容変更は認められません。
- (3) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験を停止し、試験を無効とします。
 - ア 出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん、または虚偽の申告をすること
 - イ カンニングおよびカンニングの手助け
 - ウ 監督者等の指示に従わないこと
 - エ 試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- (4) 試験時間中に使用することが認められていない物、又は身に付けることを禁止している物品を所持又は使用した場合、若しくは試験時間中に当該物品が発見された場合には、不正行為とみなすことがあります。
- (5) 提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には、本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また、悪質な不正行為等が認められた場合には、関係機関への通報又は警察への被害届の提出等、法的措置を講ずる場合があります。
- (6) 一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料の返還請求ができる場合
 - ア 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合
 - ② 返還する検定料の金額
志願者本人の申し出により、二重払い込み分又は全額を返還します。
 - ③ 検定料返還請求の方法
上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、2026年12月15日（火）〔必着〕までに静岡大学グローバル共創科学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836）へ郵送してください。
ウの場合は、出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。
なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（一般入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所（フリガナ）
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

※ 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。

詳しくは、専用ウェブサイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。

- (7) 合格者のうち現在在職中の者及び2027年4月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ準備しておいてください。
- (8) 募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」におこなってください。

なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程グローバル共創科学研究科募集要項請求」と朱書きし、あて先を明記した返信用封筒（角形2号：33 cm×24 cmに、320 円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学グローバル共創科学部学務係
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836
TEL (054) 238-3715, 4256

自己推薦型入試

【2027 年 4 月入学】

1 自己推薦型入試の趣旨

近年、科学技術の進展と広がりが著しく、新しい学問分野のみならず、既存の学問体系の枠を越えた学際的学問分野等の開拓も重要となってきました。こうした社会的要請に応えるべく、本研究科では学生一人一人に特徴ある教育と研究を課すことを目的として、本学出身者及び他の大学、学部出身の学生にも門戸を広げた入試を実施することとしました。

すなわち、本学及び他大学出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば、他分野を専攻した者も含め、入学を歓迎するというもので、その選抜は、出願書類の審査及び面接試験によって行う特別の制度です。

2 出願資格

2027 年 3 月に大学を卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、人文社会科学、自然科学の高度な専門知識に基づく共創で様々な社会的課題の解決に取り組み、より良い未来社会の実現に貢献することに意欲のある者
- (2) 二次選抜に合格した場合、入学を確約できる者

3 募集人員及び選抜内容

募集人員	選 抜 内 容
6 名	・ 出願書類審査（一次選抜） ・ 面接試験（二次選抜）

4 研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『グローバル共創科学研究科研究内容概要（17 頁）』及び『グローバル共創科学研究科研究内容紹介（18～19 頁）』を参照し、自分の希望に沿った志望専門分野及び志望する研究内容を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。（教員の連絡先は、『グローバル共創科学研究科研究内容概要（17 頁）』を参照してください。）

5 出願書類受付期間

2026 年 9 月 14 日（月）～2026 年 9 月 18 日（金）

（窓口受付時間は、9 時から 12 時 30 分及び 13 時 30 分から 16 時の間）

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書（自己推薦型入試）在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は 2026 年 9 月 18 日（金）の 16 時必着とします。

6 出願書類提出先

〒422-8529 静岡県駿河区大谷 836

静岡大学グローバル共創科学部学務係 TEL (054) 238-3715, 4256

7 出願書類等

入 学 願 書	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
---------	--------------------------

入 学 検 定 料 30,000 円	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払い込んでください。 ※払込後の返還、大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置については、「15 注意事項」をお読みください。
振替払込受付証明書 (入学検定料受付証明書)	本研究科所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
成 績 証 明 書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
卒業見込証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 本学のグローバル共創科学部を卒業見込みの者は提出不要です。
自 己 推 薦 書	学部時代に興味・関心を持った内容とこれまでの学習経過、そしてそれを踏まえた今後の学習及び研究に対する抱負について、任意の A 4 判用紙 2 枚以内（片面・縦長横書き）にまとめたもの。
在留カードの写し (両面の写しを提出)	日本国籍を有しない者のみ。
返 信 用 封 筒	任意の長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、410 円切手を貼付したもの。（受験票送付用、海外への送付を希望する場合は郵送料をグローバル共創科学部学務係に確認してください。）
あ て 名 票	本研究科所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記してください。 (合格通知書・入学手続案内送付用) 所定の用紙はグローバル共創科学部ウェブサイト (https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/) からダウンロードしてください。

出願に際して記入した事項及び提出した書類については、すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載、改ざん又は不正が判明した場合は、出願の受理後または入学試験実施後であっても、合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

8 選抜方針

入学願書、成績証明書、自己推薦書及び個人面接の結果を総合的に判断し、合格者を決定します。

9 選抜方法

(一次選抜)

入学願書、成績証明書及び自己推薦書について総合的に判断し、『二次選抜受験有資格者』を決定します。

(二次選抜)

『二次選抜受験有資格者』に対して、面接試験を行います。

10 二次選抜受験有資格者の発表

一次選抜の合格者は『二次選抜受験有資格者』として、2026 年 10 月 9 日（金）までにグローバル共創科学部ウェブサイト (<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/>) で発表します。

二次選抜についての重要な情報も掲載しますので、必ず確認してください。

11 二次選抜（面接試験）の日時、試験場

日 時	2026 年 11 月 5 日（木）13：30～
場 所	静岡大学（静岡市駿河区大谷 836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、『二次選抜受験有資格者』の発表とあわせてグローバル共創科学部ウェブサイト (<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/>) に掲載します。

12 合格発表

2026 年 11 月 13 日（金）の正午（予定）に、グローバル共創科学部ウェブサイト (<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/>) に掲載するとともに、合格者には郵送により通知します。なお、合格者は、確認書を 2026 年 11 月 30 日（月）までに提出してください。提出方法等の詳細は、合格通知書に同封する案内により通知します。

13 入学手続き

2027 年 3 月中旬までに行う予定です。入学手続きの詳細な案内（入学料・授業料の免除申請を含む。）は、2027 年 3 月上旬までに本人あてに郵送します。

14 入学料及び授業料

◆ 入学料 282,000 円《2026 年度実績額》

◆ 授業料 年額 535,800 円（半期分 267,900 円）《2026 年度実績額》

（注）① 前期分の授業料については、2027 年 4 月 1 日（木）から同年 4 月 30 日（金）までに納入してください。

② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

15 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合であっても、自己推薦型入試による第二次募集及び追加合格による欠員補充は実施しません。

16 注意事項

（1）試験の際には、必ず受験票を携帯してください。

（2）出願後、提出書類の内容変更は認められません。

（3）次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験を停止し、試験を無効とします。

ア 出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん、または虚偽の申告をすること

イ カンニングおよびカンニングの手助け

ウ 監督者等の指示に従わないこと

エ 試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

（4）試験時間中に使用することが認められていない物、又は身に付けることを禁止している物品を所持又は使用した場合、若しくは試験時間中に当該物品が発見された場合には、不正行為とみなすことがあります。

（5）提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には、本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また、悪質な不正行為等が認められた場合には、関係機関への通報又は警察への被害届の提出等、法的措置を講ずる場合があります。

（6）一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合

ア 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合

イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ 出願書類に不備があり、出願が受理されなかった場合

② 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により、二重払い込み分又は全額を返還します。

③ 検定料返還請求の方法

上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の 1～8 を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、2026 年 10 月 29 日（木）〔必着〕までに静岡大学グローバル共創科学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836）へ郵送してください。

ウの場合は、出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（自己推薦型入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所（フリガナ）
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

※ 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。

詳しくは、専用ウェブサイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。

- (7) 合格者のうち、2027 年 4 月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ用意しておいてください。
- (8) 募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」におこなってください。

なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程グローバル共創科学研究科募集要項請求」と朱書きし、あて先を明記した返信用封筒（角形 2 号：33 cm×24 cmに、320 円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学グローバル共創科学部学務係
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836
TEL (054) 238-3715, 4256

入学試験情報の提供

本研究科では、入学試験に関して、以下のとおり情報を提供しています。

(1) インターネット

募集要項等はグローバル共創科学部ウェブサイトに掲載しています。

【URL】 <https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/>

(2) 入試情報の開示

静岡大学大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、2027年4月15日（木）から2027年5月17日（月）の間に受け付けます。詳細は、本学入試課までお問い合わせください。

＜入試課＞

TEL (054) 238-4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務、④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（修士課程では2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて修士課程においては4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳しい内容については、グローバル共創科学部学務係までお問い合わせください。

障害のある入学志願者への受験上の配慮について

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願する前に下記により申請して下さい。結果については、決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	出願期間開始の1か月前まで、厳守をお願いします。 ※対応の検討に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。
申請の方法	『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請して下さい。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学グローバル共創科学部学務係 TEL 054-238-3715, 4256 FAX 054-238-3716

【注】1 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、110円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付して下さい。

2 電話による照会及び『大学院受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日、祝日及び本学の一斉休業日は受け付けませんので注意して下さい。
（窓口受付時間は、9時から12時30分及び13時30分から16時の間）

安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集

<https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.html>

第1編第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

グローバル共創科学研究科 研究内容概要

(注)教員欄の＊印は、2029年3月31日退職予定

△は、研究指導補助(副指導教員)として指導予定

領域	申請 番号	教 員		専 門 分 野	連 絡 先 (◆=@shizuoka.ac.jp)	
共生社会創造領域	K 1	教 授	池 田 恵 子	社会学・ジェンダー研究	ikedakeiko◆	K 1
	K 2	教 授	祝 原 豊	スポーツ科学・体育・健康科学	iwaiharyutaka◆	K 2
	K 3	教 授	＊ 杉 山 康 司	生体の構造と機能、生体情報内科学、スポーツ科学・体育・健康科学	sugiyamakoji◆	K 3
	K 4	教 授	須 藤 智	心理学	sutosatoru◆	K 4
	K 5	教 授	正 木 祐 史	法学	masakiyushi◆	K 5
	K 6	准教授	石 川 宏 之	建築学	ishikawahiroyuki◆	K 6
	K 7	准教授	坪 井 秀 次	経営学・イノベーション学・行政学	tsuboisshuji◆	K 7
	K 8	准教授	松 澤 祐 介	経済学	matsuzawayuusuke◆	K 8
	K 9	准教授	村 田 真 一	スポーツ科学・体育・健康科学	muratashinichi◆	K 9
	K 10	准教授	山 本 好比古	応用言語学・社会言語学	yamamotoyoshihikob◆	K 10
	K 11	講 師	太 田 美 帆	社会学	otamiho◆	K 11
	K 12	講 師	立 花 由美子	思想・芸術・歴史学・考古学・博物館学	tachibanyumiko◆	K 12
	K 13	助 教	△ 満 下 健 太	心理学、教育学	mitsushitakenta.a◆	K 13
自然環境創造領域	S 1	教 授	崔 宰 熏	農芸化学、応用生物学	choijaehoon◆	S 1
	S 2	教 授	平 井 浩 文	環境生物化学・環境バイオテクノロジー	hiraihirofumi◆	S 2
	S 3	准教授	青 木 憲 治	材料工学、ナノマイクロ科学、有機化学、高分子	aoki.kenji◆	S 3
	S 4	准教授	稲 井 誠	有機化学	inaimakoto.a◆	S 4
	S 5	准教授	斉 藤 俊 貴	天文学	saitotoshiki◆	S 5
	S 7	助 教	金 キョンミン	水環境工学・エネルギー化学	kim.kyeongmin◆	S 7
	S 8	助 教	村 上 博 紀	細胞レベルから個体レベルの生物学、農芸化学	murakamihiroki◆	S 8

グローバル共創科学研究科 研究内容紹介

〔教員及び現在の主要研究内容〕

注１：出願に先立っては、研究指導担当教員に問い合わせること。

注２：氏名欄の＊印は、２０２９年３月３１日退職予定。

注３：△は、研究指導補助（副指導教員）として指導予定

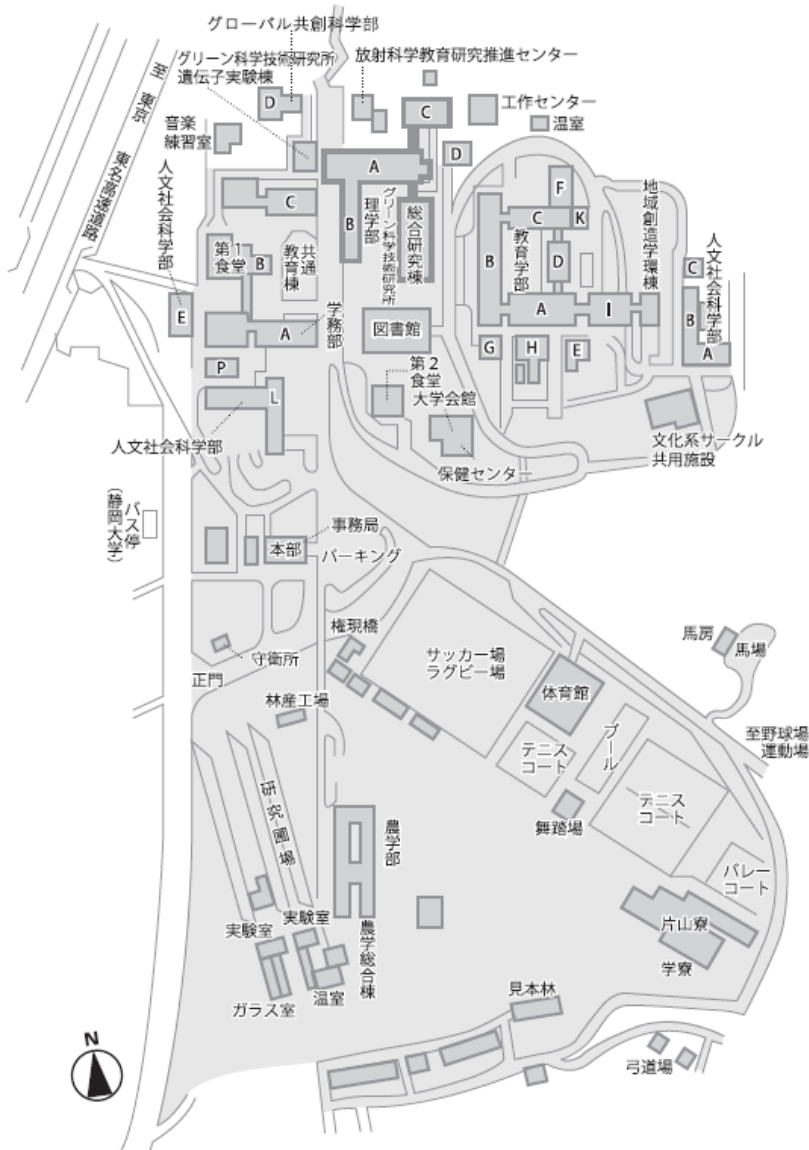
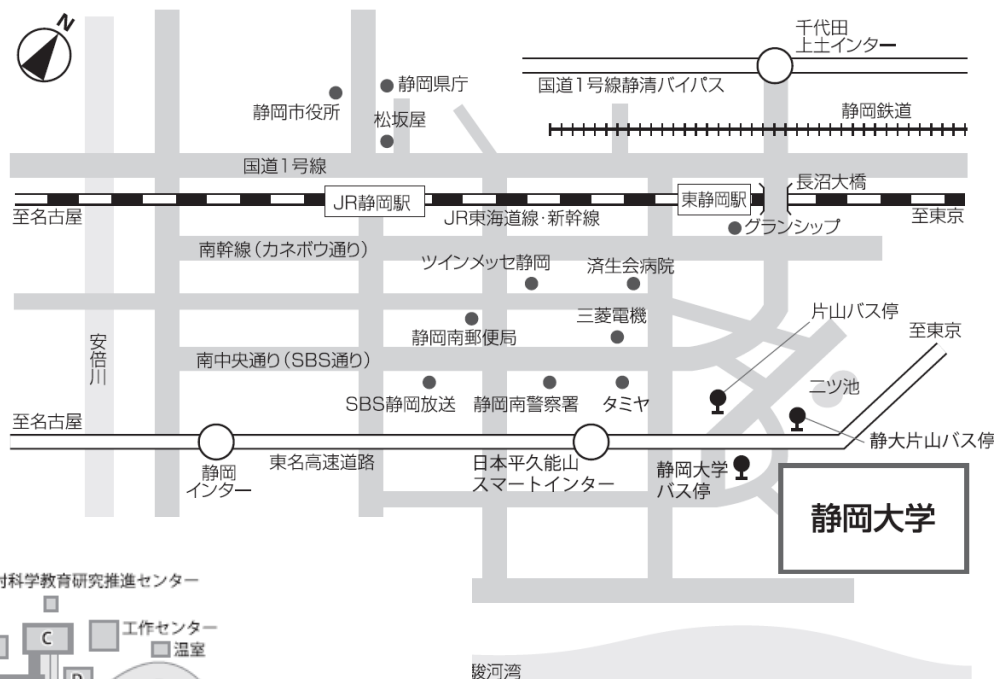
【共生社会創造領域】

氏 名	職名	研 究 内 容
池 田 恵 子	教 授	減災復興政策のジェンダー主流化に関する研究
祝 原 豊	教 授	ウェルネス、発育発達、競技力向上を目的とした、対象別の運動ツールとその実践方法に関する研究
* 杉 山 康 司	教 授	ウェルビーイングを目指したスポーツ健康科学の運動生理学的研究
須 藤 智	教 授	「認知工学」、「認知心理学」の考え方や方法、知見をもとに、人間が日常的に利用する道具（モノ・サービス）の使いやすさ（ユーザビリティ）のメカニズムの解明、道具を用いて活動する際の人間の認知過程、認知機能に関する研究
正 木 祐 史	教 授	少年法・刑事法における理論・制度研究
石 川 宏 之	准教授	①地方都市中心市街を活性化するためのエリアマネジメントに関する研究 ②減災教育や地域振興に災害遺構などを活かすためのジオパーク活動に関する研究
坪 井 秀 次	准教授	企業・行政における組織イノベーションの研究
松 澤 祐 介	准教授	中東欧諸国の欧州統合に関する比較研究
村 田 真 一	准教授	地域社会におけるスポーツ経営組織の研究
山 本 好比古	准教授	①談話分析・会話分析を用いた会話の研究 ②英語教育に関する事全般の研究
太 田 美 帆	講 師	①国際化する社会に適した社会保障の構築に関する研究 ②地域コミュニティおよび市民社会の形成に関する研究
立 花 由美子	講 師	社会における芸術実践とその制度研究
△ 満 下 健 太	助 教	リスク認知構造の研究、学校におけるリスク研究

【自然環境創造領域】

氏 名	職名	研 究 内 容
崔 宰 熏	教 授	天然物化学的手法による生命現象における有機化合物の機能解明に関する研究
平 井 浩 文	教 授	白色腐朽菌を用いた木質バイオリファイナリー及びバイオレメディエーションに関する研究
青 木 憲 治	准教授	マテリアルリサイクル可能なセルロース/樹脂複合材料に関する研究
稲 井 誠	准教授	物質創製を基盤とする天然物合成研究
斉 藤 俊 貴	准教授	天文学、機械学習・データ科学の天文学への応用
金 キョンミン	助 教	水域における環境および自然エネルギーに関する研究
村 上 博 紀	助 教	微細藻類を活用した有用物質生産の社会実装に関する研究

静岡キャンパス案内図・建物配置図



〔交通機関〕

JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8番乗り場から以下のいずれかに乗車

1. 美和大谷線「[急行]静岡大学図書館前」行き（平日のみ運行で静岡大学休校日は運休）に乗車し、「静岡大学図書館前」で下車。
2. 美和大谷線「[35]静岡大学」行き、「[34]東大谷」（静岡大学経由）行き、「[36]ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗車し、「静岡大学」または「静大片山」で下車。
3. 美和大谷線「[33]東大谷」行き、「[37]ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き（いずれも静岡大学を経由しないもの）に乗車した場合は、「片山」で下車。

（所要時間30分、1時間に計5本前後運行）